

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

包括的支援事業 1億2,367万円
(介護保険特別会計)

戦略6 (担当：介護福祉課認定調査係)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいの5つのサービスを一体化して提供していく「地域包括ケアシステム」の実現に向け、中核機関である市内5か所の『地域包括支援センター』に専門職員を各1名増員し、市民に身近な総合相談機能の強化と介護予防や認知症施策の推進を図りました。

水道施設整備事業 1億164万円
(水道事業会計、簡易水道事業特別会計)

【H28年度への繰越額 1,850万円】
(担当：水道課施設係)

水道水の安定供給や災害時の備えを目的として、古くなった水道本管やその他の水道施設の整備工事を行いました。
また、下水道・道路改良等の工事に伴う水道管の布設替工事を行いました。

石綿セメント管更新事業 4,760万円
(水道事業会計、簡易水道事業特別会計)

【H28年度への繰越額 1,516万円】
(担当：水道課施設係)

水道水を安定して供給するため、石綿セメント管を丈夫な材質の管に更新する工事を行いました。

簡易水道再編推進事業
(簡易水道事業特別会計)

3億9,916万円

戦略3

【H28年度への繰越額 6,539万円】
(担当：水道課施設係)

一迫・大川口・鶯沢簡易水道を統合することで、安定した水道水を供給し、災害に強い水道施設を構築するとともに、維持管理コストを縮減するための工事を行いました。

一迫に整備した「門前ポンプ場」



合併処理浄化槽事業(市設置型・個人設置型)
(合併処理浄化槽事業特別会計)

戦略3

1億2,869万円

(担当：下水道課施設整備係・総務管理係)

公共下水道事業・農業集落排水事業が計画されていない区域を対象に、申請に基づき浄化槽の設置を行いました。

設置基数：123基

また、公共下水道事業の計画区域内で、下水道が当分の間整備されない区域について、個人が設置する浄化槽に対して設置費を助成しました。


助成件数：6件



合併処理浄化槽設置工事の様子

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

 **合併処理浄化槽切替助成事業**
40万円
(下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計)

戦略3 (担当：下水道課総務管理係)

既に公共汚水ますが設置されている区域で、個人が設置した合併処理浄化槽を使用している方が公共下水道等に接続した場合に、排水設備設置工事及び浄化槽撤去費用の一部として10万円を助成しました。

助成件数：4件

単独浄化槽切替助成事業 130万円
(下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、合併処理浄化槽事業特別会計)
戦略3 (担当：下水道課総務管理係)

単独浄化槽（し尿浄化槽）を廃止し、新たに公共下水道等に接続した世帯に10万円を助成しました。また、65歳以上の高齢者のみの世帯、6人以上の世帯、18歳未満の子どもが3人以上の世帯に対して、さらに10万円を加算して20万円を助成しました。

助成件数：10件

公共下水道未普及解消事業
(下水道事業特別会計)
戦略3 3億2,120万円

【H28年度への繰越額 5,735万円】
(担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路など自然環境を守り、生活の快適性の向上を目的に、汚水を処理する管路や施設等を整備しました。

〈事業内容〉

下水道管渠布設工事 L=5,293m
舗装本復旧工事 A=7,969㎡
公共ます設置工事 178か所
マンホールポンプ・電気計装設備 4か所

水洗化促進奨励金事業 150万円
(下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、合併処理浄化槽事業特別会計)
戦略3 (担当：下水道課総務管理係)

くみ取り便所等を使用している方（市の耐震改修または太陽光発電設備設置の補助を受けた方に限る。）が、水洗便所に改造し、公共下水道等に接続した場合に奨励金10万円を交付しました。

交付件数：15件



医療機器整備事業（病院事業会計）
1億7,086万円
(担当：医療管理課経営管理係)

医療の充実とサービス向上を図るため、市立3病院の医療機器を購入しました。

更新後の注射薬払出装置（若柳病院）



8 平成26年度からの主な繰越事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関係）

 = 新規事業、 = 拡充事業 （事業名の頭に標記）

平成26年度の国の補正予算で創設された地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、地域経済の活性化に向けて、消費喚起等の事業を実施しました。

【地域消費喚起・生活支援型】

1億5,813万円

- プレミアム付商品券発行事業…… 1億 981万円
- 低所得者等向け商品券交付事業… 1,437万円
- ふるさと旅行券発行事業……… 3,395万円

プレミアム付商品券発行事業

（担当：成長戦略室成長戦略係、産業戦略課商工振興係）

地域の消費拡大と商店街の活性化を図るため、市内の商店等で使用できる3割増のプレミアム付き商品券「栗原とくとく商品券」を発行しました。

○販売額（商品券1セットあたり）

6,500円分の商品券を5,000円で販売

※500円券の13枚綴とし、一般店専用券5枚、大型店・一般店共通券8枚

○使用範囲 市内の商工会加盟店

販売実績：59,992セット

低所得者等向け商品券交付事業

（担当：成長戦略室成長戦略係、税務課市民税係、市民課市民係、
社会福祉課社会福祉係・生活保護係、子育て支援課子ども・家庭福祉係）

低所得者等世帯への生活支援として、市内の商店等で使用できる「栗原くらし応援商品券」を交付しました。

○交付額 交付対象1世帯あたり3,000円分の商品券

○使用範囲 市内の商工会加盟店

交付世帯数：3,882世帯

ふるさと旅行券発行事業

（担当：成長戦略室成長戦略係、田園観光課観光企画係）

市内に限らず市外からも観光客を呼び込み、地域の消費拡大と2度の震災により落ち込んだ観光客の回復、地域の活性化を図るため、市内の宿泊施設で使用できる5割引き旅行券「くりはら魅力発見旅行券」を発行しました。

○販売額 1枚あたり5,000円分の旅行券を2,500円で販売

○使用範囲 市内の宿泊施設

販売実績：10,000枚



8 平成26年度からの主な繰越事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関係）

=新規事業、=拡充事業（事業名の頭に標記）

【地方創生先行型】

1億1,076万円

○地方版総合戦略策定事業……………	892万円
○ファン・リピーター獲得事業……………	1,673万円
（今できることプロジェクト）	
○空き家活用移住体験事業……………	212万円
○建設業若手技術者育成支援事業……………	131万円
○子ども家庭支援員訪問事業……………	370万円
○栗原市住環境リフォーム助成事業……………	4,763万円
○来てみらいん栗原移住定住情報発信事業…	905万円
○栗原市雇用拡大奨励金……………	2,130万円

地方版総合戦略策定事業

（担当：成長戦略室成長戦略係）

平成26年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国の長期ビジョンと総合戦略を踏まえながら、栗原市においても2060年を目標年次とする人口ビジョンと、2019年度までの総合戦略を一体とした「栗原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年2月に策定しました。



作成した総合戦略

ファン・リピーター獲得事業

（担当：成長戦略室定住促進係）

東日本大震災後、河北新報社が企業団体や一般の方々と沿岸部を中心にさまざまな支援や活動を行ってきた「今できることプロジェクト」について、合併10周年を迎えた栗原市を舞台に「ファン・リピーター獲得事業」として共同実施しました。

栗原市のPRを新聞紙上で行うとともに、体験型ツアーを5回開催し、延べ679組1,529人から申し込みがあり、抽選の結果、延べ107組288人の方々にご参加いただきました。



田植え体験の様子

8 平成26年度からの主な繰越事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関係）

=新規事業、=拡充事業（事業名の頭に標記）

空き家活用移住体験事業

（担当：成長戦略室定住促進係）

市への移住促進を図るため、市内の空き家を移住希望者向けの移住生活体験施設として、リフォーム工事を行い、整備しました。

また、市外在住の空き家バンク登録者や移住相談者等への紹介チラシの発送や、首都圏での移住フェア・相談会でのPRなど、利用促進に努めました。



移住体験住宅 花山向程野

建設業若手技術者育成支援事業

（担当：建設課管理係）

建設業における慢性的な若手人材不足を解消するため、若手従業員を採用する市内企業を支援し、若手人材の建設業への定着並びに技術者の育成を図りました。

- ◆若手人材採用企業支援（30歳未満）
6名（3社） 108万円
- ◆若手人材資格取得企業支援（35歳未満）
1資格あたり 受験料の1/2以内を補助（最大5千円）
合格時に受験料の1/2以内を補助（最大5千円）
合計 14名（9社） 13万円



子ども家庭支援員訪問事業

（担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係）

子育てに対する不安や悩みを抱える、18歳未満の子どもまたは妊婦のいる家庭に、子ども家庭支援員を派遣し、家事や育児の支援や、子育てに関する悩み相談などを行いました。

主な支援の内容は、多子世帯での子どもの見守りや悩みの相談、乳幼児の沐浴介助や離乳食の調理支援などでした。1件につき、2時間以内の訪問時間で週に1回から2回訪問しました。

平成27年度は4人の子ども家庭支援員を任用し、7家庭に214回訪問しました。



8 平成26年度からの主な繰越事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関係）

=新規事業、=拡充事業（事業名の頭に標記）

栗原市住環境リフォーム助成事業

戦略3

（担当：建築住宅課建築係）

市民の住環境の向上を図るため、個人住宅のバリアフリー化や防災、省エネ等と併せて実施するリフォーム工事に対して対象工事費の1/10（上限20万円）を助成しました。また、地域経済の活性化を図るため、市内業者が施工したリフォーム工事の場合は、さらに対象工事費の2/10（上限40万円）を上乗せして助成しました。

助成件数：107件（うち市内業者92件） 4,763万円



来てみらいん栗原移住定住情報発信事業

（担当：成長戦略室定住促進係）

首都圏において「栗原フェア」や「ふるさと回帰フェア」を開催し、市の観光・物産の紹介、特産品販売などを行いながら、移住定住をPRしました。

また、移住ガイドブックを作製し、栗原フェアや宮城県移住サポートセンターやルミネtheよしもと等で配布し、市をPRしました。



JOIN移住フェアの様子

栗原市雇用拡大奨励金

戦略2

（担当：産業戦略課商工振興係）

若者定住と雇用拡大戦略の一環として、市内に事務所又は事業所を有する中小企業者が、新規学卒者等（高校・大学等卒業後3年以内）で市内に住所を有する者を、常時雇用者として6ヶ月以上雇用した場合、1人当たり30万円を交付しました。

交付件数：46件（71人） 2,130万円



栗原市民憲章

このまちに生き このまちを愛し このまちを誇りとする私たちは

輝かしい未来を信じ 知恵と力を集め 夢と活力のあるまちをつくります

まなみく

眼 光を見つめ

足 大地を踏んまえ

手 明日あしたをぎっちり押さえ

腹あん中 熱あつつぐ熱あつつぐ

ひて

額あまこびに広がる宇宙

天あま駈ける駒にまたがり

われらいま風を切って走る

平成27年度

「栗原市のお金の使い道」(栗原市決算概要)

発行 宮城県栗原市 編集 栗原市総務部財政課 財政係

〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号

TEL 0228-22-1115

FAX 0228-22-0312

E-mail zaisei@kuriharacity.jp



ねじりほんによ

この決算概要に関してお気づきの点がございましたら、気軽に財政課財政係までお寄せください。